



# ジャストフィット<sup>®</sup>

フロアブル

# べと病・疫病、 攻めの防除に ジャストフィット。



**タイミングを逃さない攻めの防除で、より良い収穫へ。**

- フルオピコリドとベンチアバリカルブイソプロピルの2成分が入っています。
- ローテーション散布に使いやすい薬剤です。



## 特長

- ① 2種類の有効成分フルオピコリドとベンチアバリカルブイソプロピルの混合剤で、卵菌類に属するべと病菌や疫病菌に優れた効果を発揮します。
- ② 作用機作の違う2種類の有効成分の混合剤ですので、耐性菌発達のリスクが小さいです。また、既存の薬剤耐性菌に対しても効果を発揮します。
- ③ 予防効果に優れるとともに治療効果も兼ね備えていますので、感染初期段階での病斑拡大も阻止します。
- ④ 優れた浸達性と浸透移行性を有します。
- ⑤ 残効性と耐雨性に優れます。

## 適用病害および使用方法

(2018年1月現在の登録)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	使用回数*			使用方法
					本剤	フルオピコリド	ベンチアバリカルブイソプロピル	
かんきつ	褐色腐敗病	5,000	200~700	前日	3回	3回	3回	散布
ぶどう	べと病			30日				
きゅうり	べと病			前日				
はくさい	べと病	100~300	7日	3回	3回	3回		
たまねぎ	白色疫病	3,000						
		べと病	24	1.6				無人ヘリコプターによる散布

\*印は収穫物の残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示します。

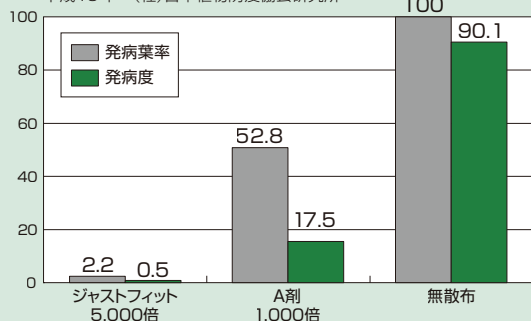
## 上手な使い方

- べと病、疫病の発生前～発生始期に予防的に散布して下さい。
- 感染直後でしたら病斑拡大の阻止効果が期待できます。
- 耐性菌の発達回避の為、作用機構が異なる薬剤をローテーションで散布して下さい。

## 試験成績

### きゅうり べと病に対する防除効果

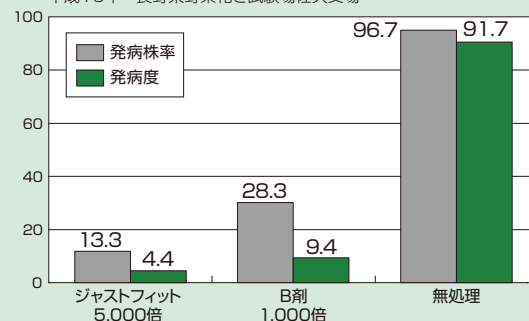
平成16年 (社)日本植物防疫協会研究所



品種：シャープ1 定植：4月1日  
区制：1区10株 3反復 発生状況：甚発生  
散布：5月19日、26日、6月2日 調査：6月9日

### はくさい べと病に対する防除効果

平成16年 長野県野菜花き試験場佐久支場



品種：優黄 定植：8月24日  
区制：1区50株 3連制 発生状況：甚発生  
散布：9月15日、28日、10月5日 調査：10月16日

## 注意事項

- 散布液調製時には、ビンをよく振って内部の成分をよく攪拌してから薬量を計って下さい。
- 調製した薬液は、調製した当日に使い切ってください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
  - ①散布は散布機種種の散布基準に従って実施して下さい。
  - ②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
  - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節して下さい。
- あんずに対して葉害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において

事前に葉害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 誤飲などのないよう注意して下さい。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00  
土・日・祝日を除く

(F-2048 18.01.IS)